



生涯スポーツ社会づくりの
マスコット「モッピー」

LIFE LONG SPORTS

contents

おおさか生涯スポーツコンベンション

・基調講演

・シンポジウム

生涯スポーツ指導者養成講習会

モッピークラブ、モッピー指導者会

地域生涯スポーツ推進協議会

なみはやスポーツ振興基金

障害者スポーツ

21世紀生涯スポーツ社会づくりへの提言

新たな企業スポーツ像を めざして

プレイヤーズスポーツクラブ
常務取締役事業部長

小田 勝美

企業単独所有チームから 地域密着型のチームへ

最近、競技スポーツから撤退する企業が続出しています。かつては、企業の広告や従業員の士気高揚の役割を果たし、さらに日本のアマチュアスポーツ界を引っ張ってきた企業がいま、曲がり角を迎えています。こうした中で、新日本製鐵(株)において、社内の各スポーツチームの意義とあり方について真剣な議論がなされた結果、バレーボールチーム(新日鐵プレイヤーズ)について新日本製鐵(株)が単独でチームを所有せず、地域における行政・企業・市民などの支援による地域密着型のチームを目指すことになりました。

その結果、平成12年12月に資本金を新日本製鐵(株)が全額出資した「(株)プレイヤーズスポーツクラブ」を設立し、チーム名も「堺プレイヤーズ」と改め、市民のシンボルとなる新しいスポーツクラブとしてスタートしました。

プレイヤーズスポーツクラブの 事業活動

プレイヤーズは、企業が単独でチームを所有する形態から地域の幅広い支援による「所有から支援へ」の運営形態の転換とスポーツ活動を通じて地域貢献、社会貢献を果たし、行政・企業・市民の三位一体となったチームづくりを行い、「地域密着」というキーワードのもとに、地域のスポーツ振興とバレーボールの普及活動に取り組んでいます。将来的には、ヨーロッパ型の総合スポーツクラブを志向しています。

そのため、次のような各種事業を行っています。まず、行政からの支援によるスポーツの活性化事業として、地元の中学校への巡回実技指導、指導者講習会などを実施し、学校スポーツ(運動部)の活性化に取り組むとともに、「ふれあいママさんバレーボール教室」を市から受託し、バレーボールを通じた市民スポーツの育成と普及を図っています。

また、学校にバレーボール部がなくバレーボールをしたくてもその場がない生徒を受け入れるために「ジュニアプレイヤーズ」を発足し、現在

中学1～2年生を対象に指導をしています。これは、中学生の健全育成とバレーボールの活性化、さらには日本バレーボール強化への布石を打つ事業です。

そして、世界の強豪チームとの国際親善大会・Vリーグチームとのオープンゲーム等のプロモートや全国各地域(関西圏のほか、鹿児島県・青森県・新潟県等)からの要請を受けて、中学生やママさんバレーボールの実技指導や講演会を開催するなど地域におけるバレーボールの普及活動にも取り組んでいます。

このような活動を通じて、地域に根ざしたスポーツ振興に取り組み、あわせて「堺プレイヤーズ」への支援の輪を拡げていきたいと考えています。



vol.

12